

No.133
2018
Summer

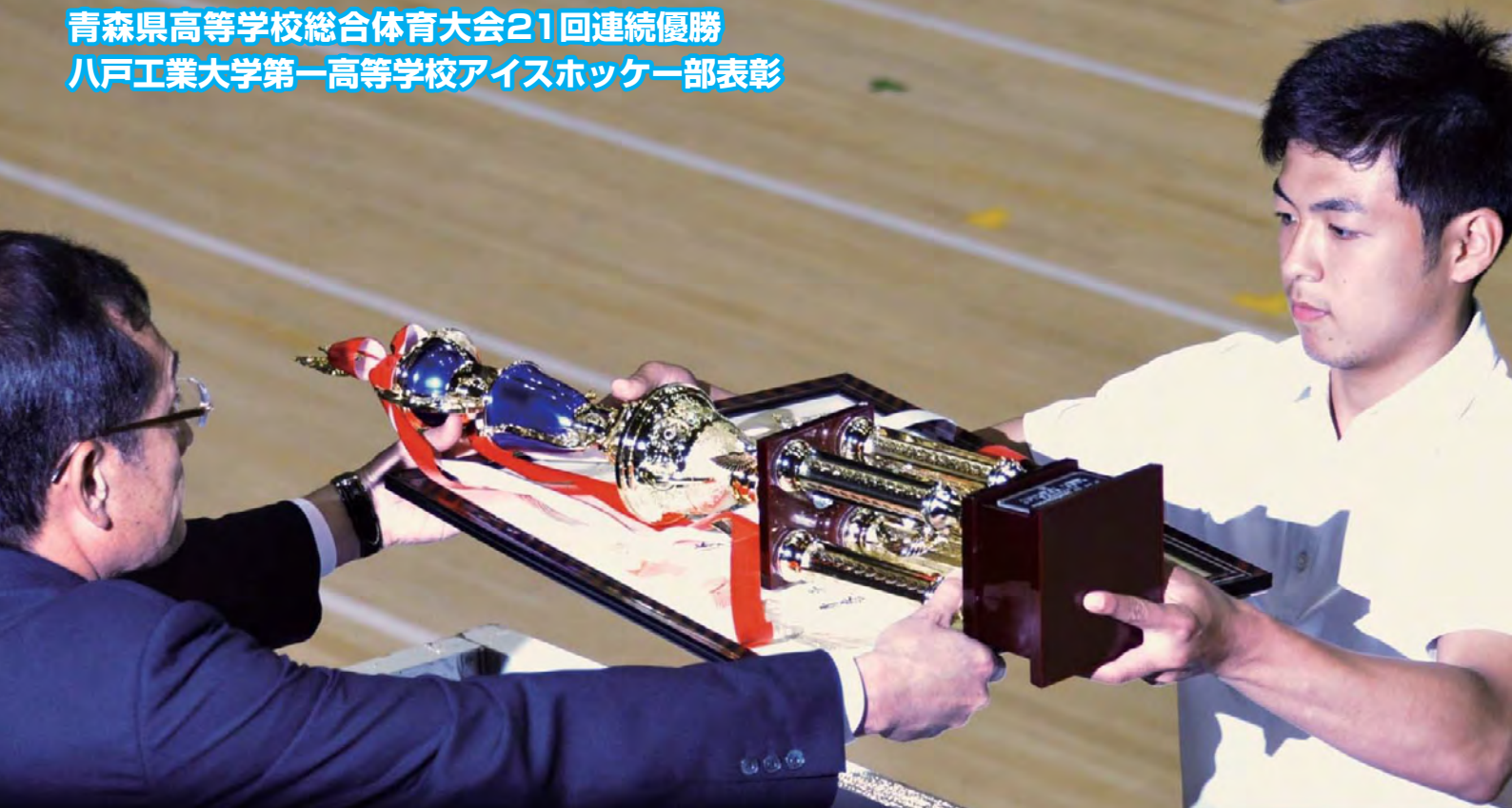
Hachinohe
Institute
of
Technology
Press
SOUKYU

蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

H. I. T. Communication

青森県高等学校総合体育大会21回連続優勝
八戸工業大学第一高等学校アイスホッケー部表彰



CONTENTS

八戸工業大学

- p2-3 H29年度学チャレ成果発表会／横溝賢准教授デザイン学会会長賞／OB小針智幸氏、記念講演／色彩検定、リビングスタイリスト検定1級合格／野球部ベストナイン／A-Caféオープン／アーチェリー部、健闘／新入生歓迎パーティー／第47回体育祭新入生オリエンテーション／建築学会賞、師弟で受賞／十勝沖地震50周年シンポジウム開催／サークル紹介・サッカー部／がんばる君を応援！／カザフスタン訪問記
- p4-5 名誉教授称号授与／工大祭 PR／教職員研修会／公開講座のお知らせ／保護者後援会・蒼穹会のお知らせ／夏のオープンキャンパス・入試対策講座／進学相談会／2019年度入試日程／主な日程
- p8-9 **カラーページ「闘魂旗獲得」八戸工大一高**



Mobile & iPhone & Android
◀◀モバイルサイトへアクセス

八戸工業大学第一高等学校

- p10-11 第71回青森県高等学校総合体育大会／県高校総体優勝種目一覧／親子学習会／進路展望／志学寮歓迎会／保護者対象進路説明会／ボランティア活動

八戸工業大学第二高等学校

- p12-13 第71回青森県高等学校総合体育大会・ポスター最優秀賞／金井宇宙飛行士お帰りの会／2学年総合学習／カレッジコースの活動／情報ビジネスコースの活動／美術コースの活動

さくら幼稚園

- p14-15 うんどうかい／みどりの風／ようちえんってこんなところ／とらんぼりん

八戸工業大学第二高等学校附属中学校

- p16 オリエンテーション合宿／授業風景／放課後の活動
- p16 理事会・評議員会

平成29年度「学生チャレンジプロジェクト事業」成果発表会 「縄文デザインプロジェクト」が最優秀賞受賞

6月8日、メディアセンターにて平成29年度「学生チャレンジプロジェクト事業」成果発表会が行われ、上位3チームが表彰された。

平成29年度は、14チームの参加があり、これまでで最多となった。文化・芸術・観光・歴史を多様な視点からとらえた技術開発や地域貢献、地域活性化への取り組みが発表された。なかでも縄文デザインプロジェクトは、縄文文化を子どもたちにも親しんでもらおうとこれかわ縄文まつりやポータルミュージアムはっちでワークショップを実施し、八戸市学生まちづくり助成

金も受けている。コンペティションでは市長賞を受賞、今回の最優秀賞受賞へとつながった。

仲間と継続して作業をすることや、地域との連携がチームの課題としてあげられる一方、事業を実施して仲間や地域の方とのつながりや達成感が得られた様子がプレゼンテーションからうかがえた。



最優秀賞「縄文デザインプロジェクト」 縄文デザインプロジェクトチーム
優秀賞「Shinkansen days ～在来線から新幹線、そして未来へ～」 ぐっ job advanced
特別賞「裂織 mob. プロジェクト」 裂織プロダクト

平成29年度学生チャレンジプロジェクト一覧

グループ名	プロジェクト名
新聞研究会	八戸の活性化に向けた学生新聞の取材・編集
ADL（建築デザイン研究部）	津軽地方の大石武学流庭園の調査と普及活動
ばっちこい青春	四季折々プロジェクト
えにし	「書」で交感する、墨の縁（えにし）
HIT Team たねちゃん	青森の活性化に貢献できる ICT 機器の開発と地域連携活動
縄文デザインプロジェクトチーム	縄文デザインプロジェクト
ドローン研究会	ドローン空撮プロジェクト
裂織プロダクト	裂織 mob. プロジェクト
ぐっ job advanced	Shinkansen days ～在来線から新幹線、そして未来へ～
宇宙工学同好会	CANSAT プロジェクト
八戸工業大学硬式野球部	岩手県三陸地方での野球教室ならびに階上町での雪かきによる地域支援プロジェクト
どっちびー	まちをキャンパスにする。プロジェクト
K 科 1 年有志	縁側プロジェクト
食品研究会	食による地域おこしと食育活動

横溝賢准教授、日本デザイン学会会長賞受賞

6月22日～24日、大阪工業大学にて開催された日本デザイン学会春季研究発表大会において、創生デザイン学科横溝賢准教授が2018年度日本デザイン学会会長賞を受賞した。



この賞は、学会の未来を担う若手研究者を対象として顕彰することを目的に、本年度から新たに制定されたものである。横溝准教授は、これまで朝市でにぎわう地元館鼻岸壁で学生による学会支部大会ポスターセッション（写真）や、学生による地元工芸品デザイン化のプロデュースをするなど数多い地元密着型のデザイン学を展開しており、八戸市がすすめているアートのまちづくりに貢献している。

受賞にあたり、横溝准教授からのコメントを紹介する。
「初回に当たる本年度、賞の対象者に選ばれたことは、大変光栄なことであると感じております。そもそも私は、

大学～広告代理店時代までデザイン学研究とは全くの無縁で、イタリアでのデザイン実務を経て、2010年より、国内外での多様な実務において培ったデザイン知を明らかにすることを目的に研究活動をはじめました。

研究者としては新参者の私ですが受賞に至った背景には、本学に赴任してからの5年間、東北北海道地区において地域の市民や産業と関わりながらデザインを実践し、デザイン学を地域に開いてきた活動が評価されたのだと聞きました。これまでの活動にご助力、支援いただいた大学関係者の皆さまに感謝すると共に、今回の受賞を励みとし、より一層、地域に還元できる教育研究を展開していきたいと思っています。有難うございました。横溝 記」



OB小針智幸氏、母校で記念講演

6月14日、第38回日本建築学会東北建築賞「作品賞」を受賞した小針智幸氏をむかえ、「建築設計事務所－就職への道と仕事のやりがい」と題し、土木建築工学科学生対象に受賞記念講演が行われた。



講演では、受賞作品となった「宮古市崎山貝塚縄文の森公園複合施設」が東日本大震災の影響を受けながらも最善策で完成にこぎつけたこと、如何に施主の思いを建築物にしていくなど、作品例を交えて語られた。



～創生デザイン学科資格取得への取り組み～

難関の色彩検定、リビングスタイリスト検定1級合格

色彩検定（文部科学省後援）は、色の基礎から、配色技法、ビジュアルデザイン等の専門分野における利用を幅広く取り扱う“カラーコーディネーター”になるための資格である。2017年度は1級の合格率が35.6%という難関の中で、本学科から津島有依さん（3年／大湊高（写真左））が見事1級に合



格した。

またこの春、リビングスタイリスト検定（文部科学省後援）1級に、寺井隆太郎君（3年／八戸東高（写真右））と中村光希さん（2年／八戸北高）が合格した。住環境・インテリアをはじめとする住生活商品を扱う業界において、多様化する客のニーズに対応するための十分な技術を身につけた「接客・販売スタッフ」として活躍する資格で、コミュニケーション能力・ビジネスマナーを身に付けたい学生にも有効な資格であり、取得により、リビングスタイリストとしての道も開けてくる。

本学科では、学生の資格取得に向けてゼミの実施など支援を行っている。

A-Caféオープン ～学生の自由な発想で活用～

土木建築工学科では、建築工学専門棟 A201室を改装し、自由な学びの空間「A-Café」をアクティブラーニングルームとして開設しました。コンセプトは「本（技術）やアート（芸術）に囲まれた自由空間・アクティブラーニングルーム」です。世界の建築を紹介する書籍やポスター、建築模型や木工オブジェなどに囲まれながら、ゼミや学習成果の発表、学生同士の活発な議論や情報交換、自習や読書というように思い通りの目的で自由に時を過ごし、建築創造のためのモチベーションを高め、学生の主体的・能動的な学びを引き出す場として活用されています。

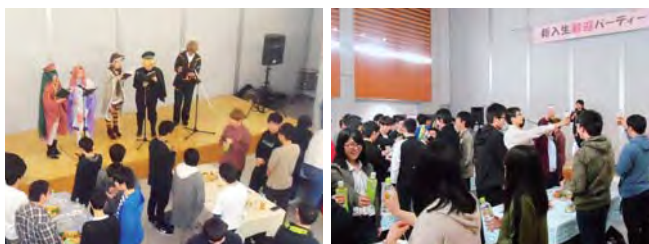
この空間は、東日本大震災により亡くなられた本学OBのご家族より、建

築系学生諸君の教育に役立ててほしいとのことから寄せられた寄付金により整備されたものです。



新入生歓迎パーティー

4月20日、メディアセンターにて学友会主催の新入生歓迎パーティーが行われ、食事をともにしながら談笑する学生でにぎわった。ステージでは、ストリートダンス愛好会、合唱部、音楽研究部、吹奏楽部から歓迎のパフォーマンス披露があり、会場は熱気に包まれた。最後は恒例のビンゴ大会で幕を閉じ、新年度の学友会活動は賑やかなスタートとなった。



菅原君、春季リーグでベストナインに

野球部の春季一部リーグ戦で4年の菅原涼太君（土木建築工学科／秋田商高）が指名打者部門のベストナインを獲得した。打率は3割に届かなかったものの、ホームラン1本と二塁打4本の成績が評価されての受賞となった。本学からの選出は平成21年秋季大会以来、17シーズンぶりの快挙である。チームは入替戦に敗れ二部降格となったが、春季リーグでの昇格を期待したい。



アーチェリー部、健闘

4月に行われた東北学生春季大会にて東北代表として電気電子工学科3年杉本優樹君（三本木農高）、土木建築工学科2年田沢青輝君（三本木農高（写真左から2番目））、同学科1年松村昇吾君（三本木農高）の3人が選拔され、5月12日・13日に秋保森林スポーツ公園（仙台市）で開催された全日本学生アーチェリー東日本大会に出場した。ハイレベルな関東勢を相手に1年生松村君が60名中23位と健闘した。



第47回体育祭

6月8日、体育会主催の第47回体育祭が開催され、バレーボール、サッカー、綱引き、卓球など全10種目で熱戦が繰り広げられた。ウォークラリーや体力測定など、スポーツの得手不得手に関わらず参加できるものもあり、教職員チームも硬式テニス、ソフトボールに参加し学生達と汗を流した。



学友と親睦を深め、新入生オリエンテーション実施

5月10日・11日にわたり、新入生オリエンテーションが全学科にて実施された。この研修は、学生としての意識向上や仲間との連帯感を持ってもらうことを目的としている。上

級生がグループリーダーを務め、各学科のプログラムにより、見学やグループワーク等を行った。

機械工学科

東北電力八戸火力発電所、多摩川精機、クラシックカーを展示・修復しているツカハラミュージアム、ケミカルタンカーを製造する北日本造船（写真左）など、市内を中心に地域社会の活性化と発展に幅広い活躍をしている企業を見学。宿泊先では上級生や同期生と交流を深めた。



電気電子工学科

松川地熱発電所、御所ダム（写真左）、御所発電所、小岩井農場（写真右）、バイオマスパワーしずくし等、岩手県の盛岡周辺にて北東北の自然と再生可能エネルギーについて学んだ。宿泊先のホテルでは大学生活の抱負の発表や上級生との懇談の場を設け親睦を深めた。



土木建築工学科

大学を出発し十和田湖を經由し城ヶ倉大橋、浅瀬石川ダムへ。秋田県では、大館樹海ドーム（写真右）、旧関善酒店、史跡尾去沢鉱山（写真左）、小坂康楽館など、北東北地域の土木・建築に関する施設見学を行った。また、同期や上級生と意見交換し交流を深めた。



システム情報工学科

新入生73名、スタッフと総勢87名で国際核融合エネルギー研究センター、青い森クラウドベース、NHK青森放送局（写真左）など計6ヶ所を見学。大学生活を有意義に過ごすため、同期生の仲間や上級生と、大学生活、卒業後の志望について意見交換をし、交流を深めた。



生命環境科学科

岩手県北の乳飲料・ヨーグルトなどを製造する奥中山高原農協乳業(株)、清酒メーカーの(株)あさ開を訪れ、食品製造の現場を見学した。2日目は晴天に恵まれ、学生と教員の交流も和やかに安比高原でオリエンテーリング（写真左）が実施された。



創生デザイン学科

岩手県花巻市にて花巻家守舎の協力でリノベーションの学習をし、リノベーションの事例であるマルカンデパートにて10段ソフトクリームを食した。その後、市内のフィールドワークを行い、デパートの一角を活用した展示企画を検討するワークショップを行った。2日目は、岩手県立美術館と小岩井農場を見学した。



建築学会賞、師弟で受賞

月永洋一教授「功労賞」、建築工学科OB小針智幸氏「作品賞」受賞

5月12日、「せんだいメディアテーク」にて（一社）日本建築学会東北支部「東北建築賞表彰式」が開催され、土木建築工学科の月永洋一教授（写真左から3人目）が、建築学会東北支部の発展に多大な貢献があったと認められ、2018年度日本建築学会東北支部功労賞を、建築工学科平成8年卒業の小針智幸氏（㈱アトリエノルド代表、右から3人目）が日本建築学会東北建築賞「作品賞」を受賞した。

月永教授は、日本建築学会東北支部において常議員、代議員および研究委員会材料部会長を歴任し、東北支部の運営に尽力されるとともに、学術の発展、特に寒冷地域における建築材料学・コンクリート工学の研究の発展において顕著な貢献があった。これまでも、平成21年に日本コンクリート工学協会功労賞、平成27年に日本コンクリート工学協会東北支部功労賞を受賞している。

6月14日、小針氏は本学で後輩に迎えられ、受賞記念講演を行った。（2ページ参照）



十勝沖地震から50年 シンポジウム開催

1968年十勝沖地震

50周年シンポジウム

ー過去を見つめこれからを考えるー

本年は、十勝沖地震から丁度50年目の節目にあたります。これを機に、これからの防災対策や災害被害軽減のため、過去を振り返り最近の知見を共有し、防災意識の向上を考えましょう。

日時：2018年8月25日（土）

会場：八戸プラザホテル

対象：一般市民（参加費無料）

参加申込・お問合せ：0178(25)8005

社会連携学術推進室まで

サッカー部

私たちサッカー部は正会員、準会員含めて、22名で活動しています。今年は一年生の入部も多く、チームの雰囲気も変わり、楽しみながら練習をしています。大きく変わったのはみんなが最後まで走り切れるようになったことです。この変化は試合の結果にもあらわれ、得点できるようになり、勝利数も増えたりと手ごたえを感じています。しかし、まだまだ満足はしていません。これから部員をたくさん増やしていき練習の質も上げ、もっといい成績を残せるよう練習に励んでいきたいです。来年、再来年とどんどん結果を出していけるように、今、やれることをしていきます。



サッカー部 主 将 坂本 蓮（土木建築工学科3年／八戸工大一高）

副主将 赤坂 隆登（土木建築工学科3年／八戸工大一高）

がんばる君を応援！

■H.I.T. 特別養成コース(オナーズプログラム)

学力や意欲の高い学生の能力をさらに伸ばし、満足度が高い進路を支援します。特別カリキュラムで学習し、4年間給付型の奨学金が受けられます。

■資格特待生制度

ジュニアマイスター・アグリマイスター・マリンマイスター顕彰制度および全国商業高等学校協会検定試験資格を対象とした減免制度です。

◆上記のほか、学業・スポーツ特待生および奨学生制度があります。詳細は本学ホームページをご確認ください。

カザフスタン訪問記 ～第1回 HIT-ENU科学フォーラム開催～

6月14～20日、本学とカザフスタン共和国国立ユーラシア大学 ENU との共催による第1回 HIT-ENU 科学フォーラムが、アスタナ市（ENU 所在地）アルマティ市（KazGASA 所在地）を中心に開催された。本フォーラムは HIT-ENU の協定締結1周年と、開催地であるアスタナ市の市政20周年を記念してのものである。本学と ENU とはこれまで約30年にわたる学術交流活動を行っており、2017年6月21日に連携協定を締結している。本学からは、柳谷利通理事長、長谷川明学長、橋詰豊講師の3名が出席した。

フォーラムでは、土木工学、地盤工学、防災工学に関する技術講演や基調講演が発表され、ENU 実験施設や KazGASA 実験施設を見学した。ENU の客員教授である望月秋利教授の



左から、橋詰講師、柳谷理事長、長谷川学長

研究ラボでは、学術研究に興味深い装置を拝見することができ、意見を交換した。また、大学附属博物館では、大学院生が博物館ガイドとの通訳を英語で行い見学をサポートし

てくれた。

現在、アスタナ市とアルマティ市は LRT（軽量鉄道）、地下鉄（現在は供用開始）などインフラ整備が急速に進行しており、工事現場の見学も行った。

最後に我々は、カザフスタン日本大使館、川端一郎 特命全権大使を表敬訪問し、両学の連携活動について報告、活動協力・情報提供等のお願いをした。

本訪問を通じ、各機関と本学との研究活動連携の必要性、有意性について共通認識を持つことができたと感じる。特に人材育成において、本学大学院での教育・研究活動が双方の地域発展、技術発展に大きく貢献できることが期待される。

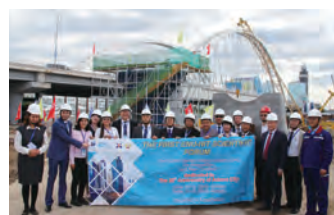
土木建築工学科 講師 橋詰 豊

※ HIT：八戸工業大学の略

ENU：L.N.Gumilyov Eurasian National University の略

KazGASA：カザフスタン建築土木大学

Kazakh Leading Academy of Architecture and Civil Engineering の略



フォーラム開催の記念写真

名誉教授称号授与



左から、松坂事務部長、関電電気工学科長、根城先生、長谷川先生、熊谷先生、橋本副学長

5月25日、この春退職された根城安伯先生と熊谷浩二先生を学長室にお迎えし、名誉教授の称号を授与いたしました。おふたりは、JABEE認定などでも指導的立場で貢献されました。今後のご活躍とご健勝をお祈りします。

◇根城 安伯（ねじょう やすのり）博士（工学）

1977年当時の一般教育部に着任。教授として1997年電気工学科へ招かれ、電気電子システム学科長、大学院電子電気・情報工学専攻主任などを歴任される。プラズマ理工学及び宇宙工学を専攻され、退職後も放送大学等で教育研究活動を継続されている。

◇熊谷 浩二（くまがい こうじ）博士（工学）

1999年着任。環境建設工学科長、大学院工学研究科土木工学専攻主任、基礎教育研究センター長ほか、歴任される。環境地盤工学、技術者倫理など広い分野に活躍され、技術者教育の確立にも努力された。現在も、これらの分野で活躍されている。

（敬称略）

公開講座のお知らせ

■キッズ・デザインアカデミー2018 in HIT

家族でともにビジュアルデザインの基本を学び、オリジナル家紋ハンコをつくりましょう

日時：7月28日（土）13：30～15：30

会場：本学メディアセンター

受講無料、小中学生を含む家族対象、事前申込み必要

■君の発電所を作ろう

風力や太陽光の発電モデルキットを組み立て、グリーンエネルギーについて学びましょう

日時：9月30日（日）1回目13：00～、2回目15：00～

会場：本学メディアセンター

受講無料、小学5年生以上推奨（未満は保護者同伴）、事前申込み必要

■おもしろ電子工房 ～バペットロボットをつくろう！～

ハンドバペットをロボット化したバペットロボットの製作を行います。完成したロボットは、お持ち帰りできます。

日時：10月6日（土）13：00～15：00

会場：本学電気電子工学専門棟2F実験室

材料費1組1,500円、中学生以上（保護者同伴可）、事前申込み必要

第46回 八戸工業大学学園祭

工大祭

COLOR

～十人十色～

10月6日（土）・7日（日）開催

教職員研修会 ～第1回SD研修会実施～

6月7日、IR委員会・社会連携学術推進室主催の「IRの成果の中間報告」が本学多目的ホールで法人職員・大学教職員対象に実施された。IR分室齊藤克治係長より、IRの1stステップとして現在ある数値データを「見える化」し分析することの必要性が述べられ、分析専用ソフトを利用した学生の成績分析を事例として取り組みについて発表が行われた。今後の課題として、分析結果の精度向上と内容充実、目的別IRの推進などがあげられた。

教職員からは、専用ソフトの運用や必要データの入手、分析データの活用について質問がでるなど、活発な意見が交わされた。



■身近にあふれる科学の発見

乳酸菌、色素、キノコを題材に写真、実験等を用いながら、身近にある自然科学についてお話しします

日時：10月21日（日）14：00～16：00

会場：はちふくプラザねじょう（駐車場有）

受講無料、小学生以上、事前申込み不要

■物理の思いがけい ～物理教育の研究から～

マチナカに大学講義がやってくる！物理は堅苦しくムツカシイのか？実験とギャラリートークを行います

日時：10月26日（金）18：30～20：00

会場：ポータルミュージアムはっち1F

受講無料、中学生以上、事前申込み不要

■ジュニア・ドローン・プログラミング体験講座

スクラッチでドローンをプログラミングする入門講座です

日時：10月27日（土）10：00～14：30

会場：本学メディアセンター

受講無料、小学校高学年以上、昼食持参、事前申込み必要

※お申し込み・詳細については、

大学ホームページをご覧ください。公開講座HP▶



保護者後援会代議員会、蒼穹会総会開催

～学生の皆さんの活動を応援・支援します～

6月9日、八戸グランドホテルにて、保護者後援会代議員会(写真)ならびに蒼穹会総会が開催され、それぞれ平成29年度事業報告・決算、平成30年度役員委嘱・事業計画・予算などが承認された。



【保護者懇談会日程】※個人面談は13:00～開始予定

開催日	開催地	会 場
9月1日(土)	弘前市	ホテルニューキャッスル 弘前市上鞆師町24-1 Tel 0172-36-1211
9月2日(日)	八戸市	八戸工業大学 八戸市大字大開88-1 Tel 0178-25-3111(代)
9月8日(土)	青森市	クロスタワー・ベイ 5F プリリアンテラス 青森市長島1丁目6-6 ※貸会議室のため代表電話なし
9月8日(土)	秋田市	ホテルパールシティ秋田竿燈大通り 秋田市大町2丁目2-3 Tel 018-862-0501
9月9日(日)	盛岡市	エスポワールいわて 盛岡市中央通1丁目1-38 Tel 019-623-6251
9月9日(日)	仙台市	仙台ガーデンパレス 仙台市宮城野区榴岡4丁目1-5 Tel 022-299-6211

進学相談会日程

開催日	開催地	開催時間	会 場
7月21日(土)	秋田市	13:00～16:00	アルヴェ
9月3日(月)	青森市	15:30～18:30	青森国際ホテル
9月4日(火)	八戸市	15:30～18:30	八戸プラザアーバンホール
9月7日(金)	秋田市	15:30～18:30	アルヴェ
9月13日(木)	仙台市	15:00～18:30	仙台サンプラザホール
9月18日(火)	盛岡市	15:30～18:30	ホテルメトロポリタン盛岡本館
11月6日(火)	青森市	15:00～18:00	リンクステーションホール青森
11月7日(水)	八戸市	15:00～18:00	八戸プラザアーバンホール
11月21日(水)	秋田市	15:00～18:00	アルヴェ
11月28日(水)	盛岡市	15:00～18:00	アイーナ

主な日程(7月～10月)

7/22(日)	オープンキャンパス①
7/30(月)～8/3(金)	前期定期試験
8/4(土)～9/15(土)	夏季休業
8/5(日)	オープンキャンパス②
8/13(月)～17(金)	大学窓口業務休業
9/22(土)	AO入試第1クール
10/6(土)・7(日)	学園祭
10/6(土)・7(日)	入試対策講座

夏のオープンキャンパス

日 時: 7月22日(日)、8月5日(日)
10:00～14:30(両日)

プログラム: 学科体験、特別授業、キャンパスツアー、
大学周辺バスツアー、保護者向けガイダンス、
学食体験、各種相談コーナー ほか

在学生が主体となって運営します! 皆さまのご来場をお待ちしております。

◆東北各地から無料送迎バスを運行します。

◆事前予約をしていただくと入場がスムーズです。



入試対策講座

日 時: 10月6日(土)、10月7日(日)
10:00～13:00(両日)

プログラム: 一般入試(学業特待生選考試験)対策講座、
AO・推薦入試対策相談コーナー

国語、数学、理科、英語について、本学教員が解説します!

◆学園祭と同日開催です。

詳細は本学ホームページをご確認ください。

お問い合わせ: 0120-850-276(入試課フリーダイヤル)

2019年度入学試験日程

入試区分	クール	エントリーカード受付期間(必着)	面 談 日
AO入学試験	第1クール	9月1日(土)～9月14日(金)	9月22日(土)
	第2クール	11月15日(木)～11月22日(木)	12月1日(土)
	第3クール	1月28日(月)～2月1日(金)	2月8日(金)
	第4クール	3月1日(金)～3月8日(金)	3月15日(金)

入 試 区 分		願書受付期間(必着)	試 験 日
推薦入学試験	指定校制	11月1日(木)～11月8日(木)	11月17日(土)
	公募制	11月26日(月)～12月13日(木)	12月19日(水)
一般入学試験	前期	1月4日(金)～1月25日(金)	2月1日(金)
	後期	3月1日(金)～3月11日(月)	3月18日(月)
大学入試センター試験利用入学試験	前期	1月4日(金)～1月28日(月)	2019年 1月19日(土)・ 1月20日(日) の大学入試 センター試験
	中期	2月1日(金)～2月15日(金)	
	後期	3月1日(金)～3月21日(木)	

八戸工業大学第一高等学校

第71回青森県高等学校総合体育大会



闘魂旗獲得

5年連続
23回目

団体優勝

男子ソフトテニス部
男子水泳部
男子レスリング部
男子ボウリング部
男子ゴルフ部
剣道部
女子ソフトテニス部
女子水泳部
女子ゴルフ部



男子ソフトテニス部 6年連続40回目



男子水泳部 11年連続25回目



男子レスリング部 5年連続14回目



男子ボウリング部 3年連続9回目



男子ゴルフ部 7年連続8回目



剣道部 初優勝



女子ソフトテニス部 4年ぶり16回目



女子水泳部 5年連続11回目



女子ゴルフ部 4年連続5回目

団体準優勝

自転車競技部
登山部

団体第3位

男子バレーボール部
バスケットボール部
ウエイトリフティング部



第71回青森県高等学校総合体育大会

男子総合優勝

5年連続23回目



闘魂旗獲得

第71回県高校総体を振り返って

6月1日から4日にわたり、「力をひとつに 心をひとつに」のスローガンのもと、第71回青森県高等学校総合体育大会が開催された。今大会は、早期開催のゴルフ部男女アベック優勝から始まり、県内各地の会場で熱き戦いが繰り広げられた。

5月31日の結団式では、新PTA会長の田名部智之様から「心をひとつにして、仲間を信じ頑張ってほしい」と激励された。本大会男子の部ではレスリング、ソフトテニス、水泳、ボウリングが連続優勝し、剣道の初優勝を合わせ5競技が優勝し、5年連続23回目の総合優勝を成し遂げ闘魂旗を獲得した。自転車競技、登山が準優勝、第3位にバレーボール、ウエイトリフティング、バスケットボールが入賞した。

女子もゴルフ、ソフトテニス、水泳の3競技が優勝を果たすなど男女合わせて14種目が3位以上とスポーツ名門校としての証を示した。

部活動をする中でみんなが「楽しさ」「喜び」だけでなく、「勇気、自尊心、友情」などの価値観を実感できるようにしていきたい。そして生徒の意欲と満足度向上のために、生徒、教員、保護者が三位一体となって取り組み、更なる飛躍を遂げたい。

結びに、日頃本校の教育活動にご理解ご支援を頂いている関係各位に改めて感謝申し上げます。

特別活動指導部長 石藤壽也

県高校総体優勝種目一覧

団体優勝

男子ソフトテニス 6年連続40回目

佐藤 響(進学コース3年:横内中)
横野 翔太(進学コース3年:三本木中)
中山 義仁(進学コース3年:三本木中)
中谷 紫苑(情報コース3年:白銀南中)
坂本 和哉(進学コース2年:杉沢中)
吉田龍一郎(総合コース2年:市川中)
杉澤 龍哉(総合コース2年:南部中)

男子水泳 11年連続25回目

北上 理雄(進学コース3年:湊中)
中山 義仁(進学コース3年:八戸二中)
成田 雄斗(進学コース3年:弘前三中)
能正 将志(進学コース3年:弘前一中)
山下 諒(進学コース3年:堀口中)
清野 慧斗(機械コース3年:根城中)
小山内元気(進学コース2年:中里中)
工藤 嵩也(進学コース2年:平賀東中)
長内 響(普通科1年:五所川原一中)
三橋凜大朗(普通科1年:戸山中)
古舘 賢人(普通科1年:十和田東中)

男子レスリング 5年連続14回目

榎本 翔斗(進学コース3年:八戸東中)
西舘 黎(進学コース3年:白山台中)
小泉 蓮(総合コース3年:千歳中)
類家 柊人(電気コース3年:白銀中)
尾崎 怜(建築コース3年:八戸東中)
武部 優希(建築コース3年:階上中)
福士 陽斗(建築コース3年:根城中)
小川 颯太(進学コース2年:十和田東中)
関下 光輝(進学コース2年:白銀南中)
鳴海 篤郎(建築コース2年:木造中)
佐々木海斗(普通科1年:敷中)

男子ボウリング 3年連続9回目

武部 雄大(情報コース3年:小中野中)
佐々木 駿(建築コース3年:八戸東中)
高坂 雄斗(建築コース3年:小中野中)
中村 祐麻(土木コース2年:根城中)
齋藤 洸和(電気コース1年:十和田中)

男子ゴルフ 7年連続8回目

千葉 楽(進学コース3年:宮城:湊中)
千葉龍太郎(総合コース3年:秋田:山田中)
内海 将太(土木コース2年:宮城:蛇田中)
赤石 拓斗(普通科1年:秋田:二ツ井中)
加瀬谷 駿(普通科1年:秋田:稲川中)

剣道 初優勝

底田 尚弥(総合コース3年:七戸中)
山本 大翔(情報コース3年:大間中)
畠山 侑大(土木コース3年:下長中)
中村 寛人(進学コース2年:東北中)
向井 連弥(電気コース2年:東北中)
菊池 岳斗(普通科1年:奥戸中)
田中 拓光(普通科1年:下長中)

女子水泳 5年連続11回目

今泉 沙彩(進学コース3年:十和田中)
沢尻 雛乃(進学コース3年:湊中)
坪田 愛生(進学コース2年:鶴田中)
檜館 和音(普通科1年:甲東中)
片野 亜依(普通科1年:三条中)

女子ゴルフ 4年連続5回目

横山 もも(総合コース3年:宮城:稲井中)
工藤 楓佳(機械コース3年:鎌ヶ沢中)
小笠原唯愛(普通科1年:秋田:山王中)

女子ソフトテニス 4年ぶり16回目

中家 瑞希(進学コース3年:八戸三中)
清水みなみ(進学コース3年:階上中)
成田 愛来(総合コース3年:下田中)
竹内 音色(総合コース3年:七戸中)

小野 未久(進学コース2年:階上中)
佐藤 野彩(進学コース2年:黒石中)
高杉かりん(進学コース2年:板柳中)
工藤 芽依(普通科1年:中里中)

個人優勝

男子ソフトテニス

畠山 七瀬(総合コース3年:三本木中)
ダブルス
繁 皓介(進学コース3年:三本木中)

男子水泳

中山 義仁(進学コース3年:八戸二中)
200Mバタフライ
成田 雄斗(進学コース3年:弘前三中)
200M・400M個人メドレー

女子水泳

片野 亜依(普通科1年:三条中)
200Mバタフライ
檜館 和音(普通科1年:甲東中)
800M自由形
坪田 愛生(進学コース2年:鶴田中)
200M背泳ぎ
今泉 沙彩(進学コース3年:十和田中)
200M・400M個人メドレー

男子レスリング

小川 颯太(進学コース2年:十和田東中)
グレコローマン50kg
武部 優希(建築コース3年:階上中)
フリースタイル55kg
榎本 翔斗(進学コース3年:八戸東中)
フリースタイル60kg
類家 柊人(電気コース3年:白銀中)
グレコローマン60kg
小泉 蓮(総合コース3年:千歳中)
フリースタイル66kg・グレコローマン66kg

女子レスリング

太田 優香(建築コース3年:倉石中)
フリースタイル50kg
齊藤 美姫(普通科1年:十和田東中)
フリースタイル68kg

男子ゴルフ

加瀬谷 駿(普通科1年:秋田:稲川中)

女子ゴルフ

横山 もも(総合コース3年:宮城:稲井中)

ボクシング

工藤 結羅(進学コース2年:市川中)
1部ライトウェルター級

親子学習会



4月21日、親子学習会が第一体育館で行われた。講師に株式会社アスリートスタンダード代表取締役の村井忠寛氏を迎え「これからの時代を生き抜くための、心の教育を目指して」というテーマで講演していただいた。自立型人間や自立型組織の育成について学び、これからの高校生活や家庭生活に生かせる内容であった。また、講演は参加型であり、参加した保護者や生徒は隣同士で和やかに話し合う場面も多くあり、有意義な時間となった。

<生徒の感想>

- ・これからの日常生活や部活動だけではなく、将来をどうするかを決めるのにも役立つ学習会だった。社会に出ると知らない事ばかりで疲れると思うが、まずは自分で考えて行動し、変わろうと努力する事で、周りの見方も変わってくると思った。(1年普通科)
- ・どんな事でも周りとしっかりコミュニケーションを取り、話し合う事で仲良くなり、沢山の考えが出る。考え方の違いも見つける事ができるため、コミュニケーションを取ることが大切だと思う。(2年工業科)
- ・これまでは自分の中でどこかに限界を決めてしまっ、もっと上で何かをしたいという欲がなかった。しかし、話を聞いて、これから進学もあるので、もっと自分に自信を持てるように勉強や普段の生活の中で「できる」というプラス思考でやっていきたいと思った。(3年工業科)

志学寮 歓迎会

新入寮生歓迎会



4月23日、新入寮生歓迎会が志学寮内にある食堂で行われた。新入寮生は、大きな志と親元を離れた不安を抱きながら、新たな高校生活をスタートした。歓迎会は、新入生が先輩や仲間達と交流を深め、充実した寮生活を送ることができるように激励の意を込めて行われた。15名の新たな仲間を迎え総勢37名、力を合わせて切磋琢磨し成長していくことを期待する。

進路展望



今年度も卒業生の状況や今後の採用見通し等の情報収集を目的に、関東方面の企業訪問を進路指導部スタッフ3人で実施した。

リーマンショックや東日本大震災で低迷していた日本の経済状況が5年ほど前から一気に上向いたことにより、どの企業も人手不足で昨年度を上回る求人を計画しているようだ。

今回は、ここ数年本校からの採用実績のある企業や今後も是非お世話になりたい企業を中心に35社を訪問した。都内にある建築関係の企業では、今春卒業した相坂優雅君(株東京組就職・平成29年度建築コース卒(写真左))と会うことができた。彼は高卒では、めったに求人のない職種である建築設計部門に採用になった。職場では、本校の実習で学んだソフトと同じものを使用しており、研修後即戦力として活躍することができたという、彼の生き生きとした表情が印象的だった。

また、神奈川県にある自動車用ホイール製造会社では、入社後の研修会でチームリーダーとして頭角をあらわしているという卒業生に会った。本校の運動部で3年間鍛えられた精神力が生かされ、すでに会社に貢献している状況を聞き、安堵することができた。

今年度最後の企業訪問として、6月末までに3学年職員を中心に八戸市内の企業を訪問した。生徒達には、日頃から基礎学力向上、コミュニケーション能力向上、そして人間力の向上を目指し、希望進路への実現を図ってほしい。

保護者対象進路説明会

6月9日、保護者対象の「進路説明会」が、初めて八戸工業大学を会場に開催された。開会式の後、掛端進路指導部長から「就職の最新情報」として企業訪問での手応えや3年生の進路希望状況、今後の企業求人状況について説明があった。次にファイナンスプランナーの久慈拓也氏より「保護者が知っておくべき進路のお話」と題して、特に進学を希望する子を持つ保護者への自己資金の蓄え方等を中心に講演が行われた。最後は、八戸工業大学入試部長長信山克義教授より、大学進学の意味や学生生活について、また本校から八戸工業大学への進学する際のメリット等について講演が行われた。参加した約80名の保護者は、最新の企業の情報や進学の意味、進学にかかる資金についての上手な対処法を学んだ。



午後は、八戸工大の施設・設備等の見学会が行われ、約30名の保護者が参加し、大学の魅力等を肌で感じていた。

ボランティア活動 第37回八戸うみねこマラソン

5月13日、第37回八戸うみねこマラソン全国大会が行われ、ボランティアスタッフとして本校アイスホッケー部員34名が参加した。厚い雲に覆われながらも雨は降らず、距離表示及び給水所での補助作業を行った。補助生徒は参加総数5,703名のランナーに声援を送りながら、自身も参加選手の力走に勇気づけられる一日となった。これからも地元を盛り上げる活動に積極的に参加し、貢献してもらいたい。

第71回青森県高等学校総合体育大会



第71回青森県高校総合体育大会ポスターコンクールにおいて、最優秀賞に大村はるかさん（美術コース2年／八戸三中）、優秀賞に吉田涼那さん（美術コース2年／市川中）が選ばれ、6月1日に青森市で行われた総合開会式の席上において表彰された。

最優秀賞の大村さんの作品はバレーボール競技をモチーフとしたもので、まるで羽ばたいているかのような跳躍力を視覚化させた。赤と黒の展開、人物はモノクロという大胆な色使いが人の目を惹いた。この作品はポスターの他、総合開会式プログラムの表紙を飾った。

6月1日～4日、第71回青森県高等学校総合体育大会が青森市を主会場に開催され、本校からは15競技に約360名の選手が出場した。多くの3年生が今大会で部活動の引退となるため、どの運動部もこれまでの集大成として、ベストを尽くせるよう修練を重ねてきた。

団体競技では男子硬式テニス部がベスト8、女子バスケットボール部はベスト16に進出した。個人競技では男子硬式テニス部の遠沢風太君（カレッジコース3年／三戸中）がシングルス第3位に入賞し東北大会出場権を獲得、陸上競技で小西未樹さん（カレッジコース3年／道仏中）が三段跳び第7位に入賞を果たした。その他、惜しくも入賞できなかった部活動も、チーム一丸となって最後まで諦めずに戦い抜いた。どの部員も心身ともに逞しい成長を見せた4日間であった。

金井宇宙飛行士お帰りなさい



5月29・30日、生徒会を中心に有志80名ほどが、金井宣茂宇宙飛行士の無事を願って寄せ書きを行った。2016年には金井宇宙飛行士による遠隔講演会を実施しており、2017年の打ち上げ時には、本校はパブリックビューイングの会場となった。

6月3日、約半年のISSにおけるミッションを終え無事に帰還した金井氏に寄せ書きは送られた。

講演会で金井宇宙飛行士のファンになりました。Twitterなどを通じて活躍に注目していました。またお話をうかがいたいと思いますが、まずは無事に帰還して下さって嬉しいです。

藏 若奈さん
（カレッジコース3年／白銀南中）

「生きた学びを」総合学習の取り組み

2学年の総合的な学習の時間では、生徒の希望進路にあわせて6つの系統に分かれ、独自の活動を行っている。6月13日、系統ごとに企画した体験学習が実施された。そのうち教育・国際系選択者32名はさくら幼稚園を訪問し、園児達との交流や指導の補助業務を体験した。先生方が園児1人ひとりをよく観察し、個々に応じたきめ細やかな指導を行っている様子を見て、生徒たちは職業として教育に携わる重要性を肌で感じる事ができた。

一方、美術系選択者42名は学校内で日沼禎子氏（女子美術大学芸術学部教授）の講義を受けた。生徒たちは「アートによるまちづくり」を題材に、アーティストと地域の関わりや、そのことが社会にもたらすことについて学び、企画の作成にも取り組んだ。生徒たちは「青森とアートを掛け合わせることで、たくさんの可能性が生まれることが分かった」と満足して講義を終えた。



カレッジコースの活動

受験へ向けて引き締められ ～3学年AC合宿～

6月15日～17日、種差少年自然の家にて3学年AC合宿が実施され、63名の生徒が参加した。この合宿は、県高総体が終了し、多くの運動部生が部活動を引退した今の時期に合わせて毎年開催されているもの。生徒の受験へ向けての意識を高め、学習習慣を定着させることを目的としてい

る。中には8月からAO入試がスタートする生徒もいる。参加者は緊張感を持ちながらも積極的に学習活動に取り組んでいた。



メディカルクラス看護・医療体験学習

6月16日、本校会議室において「看護の日・看護週間事業『みんなで話そうー看護の出前授業』」を実施した。講師は十和田市こっ子まんま助産院の山端澄子氏で、看護師としての実体験や、看護師として大切な心構えなどが話された。将来、医療・看護系の進路を希望する生徒40名が参加し、講演に真剣に耳を傾けていた。講演の最後には、ベッドでの着替え介助の仕方や、血圧測定の仕方などを実際に



教わり、看護の仕事の楽しさや難しさを学んだ。

6月19日、3年生メディカルカレッジクラスの生徒が、八戸第一養護学校とはまなす医療療育センターへ見学に行った。障害による学習上または生

活上の困難の克服と、自立を図る教育現場から、医療・福祉・教育の総合的支援の在り方を学ぶ良い機会となった。

6月11・12・14日の3日間、2年生メディカルカレッジクラスの生徒が、階上町の「かつこうの森」にて介護実習を行った。医療と密接な関係にある介護現場の理解を深めることを目的として、施設の職員の方の補助にあたった。利用者の方々と交流することで、高齢者をサポートする現場が、どのように利用者やその家族を支えるかを学ぶ機会となった。



情報ビジネスコースの活動

清掃活動

6月16日、燕島・館鼻岸壁・魚市場周辺にて、本校情報ビジネスコースの全生徒が、清掃奉仕活動を行った。この清掃活動の目的は、八戸市クリーンパートナーの一員として、環境衛生と社会奉仕の大切さを学ぶことである。生徒はたばこの吸い殻やペットボトルなどを拾い集めた。茂みや波打ち際には漂着したと思われるゴミが散乱しており、それらを一つ一つ拾い集めた。生徒たちにとっては環境美化やマナーについて考える、良い機会となった。



資格取得を目指して

第60回全国商業高等学校主催ビジネス文書実務検定試験に向けて、172名の生徒が合格を目指した。この検定には、情報ビジネスコースの生徒の他、カレッジ・美術コースの生徒も



挑戦する。放課後に行われている講習は、全員真剣に取り組む、合格へ向けて動いていた。

美術コースの活動

新緑の奥入瀬・潮風の港を描く



5月28日・29日、美術コース全学年による校外スケッチ実習が実施された。この行事は毎年5月に行われ、今年は十和田奥入瀬溪流・八戸漁港近辺の2ヶ所に分

かれ、自然や路地裏、船などを題材にスケッチした。両日とも好天で、奥入瀬溪流では明るい日差しが新緑を鮮やかにさせ、溪流と樹木が変化に富んだ風景を作り出していた。港では高低差のある路地の趣きと、静かに浮かぶ白い漁船が青い海とのコントラストを作っていた。生徒たちは各自「これぞ」という場所を決め、集中して制作に取り組んでいた。

日本画実技講習

6月5日～7月6日の約1ヶ月にわたり、本校において日本画の集中授業が行われた。制作には専門的な知識と技術が必要なため、青森市在住の日本画家、小野定先生による特別講義を実施した。日本画で扱う絵具は「岩絵具」と、それを定着させる糊の「膠（にかわ）」が主である。



1年生は野菜、2年生は植物を主な題材としていた。3年生はスケッチ実習で描いた風景を元にする人、自分で取材した題材を描く人などさまざま、多様な日本画表現を学ぶことができた。



～年長遊戯「ともに」～



「みんなで ころを ひとつにしてがんばるぞ!!」

～入場行進～



「うでをおおきくふって、こうしんするぞ!!」

～年中かけっこ～

「ゴールめざして、よーいどん!!」



～年少親子ゲーム～

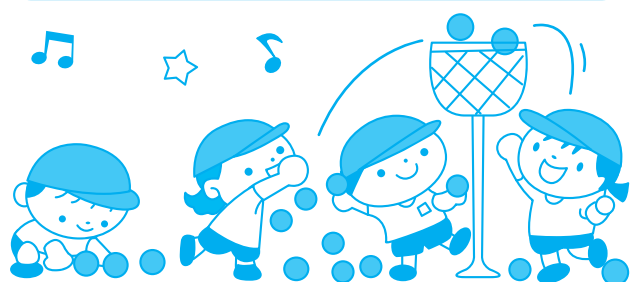


「あおむしにへんしんしたよ!りんごもぐもぐ」

八戸工業大学吹奏楽部



「おにいさん、おねえさん、すてきなえんそうとてつだい、ありがとうございました。」



6月30日(土)、第48回運動会が行われた。集合の放送が入る前から友達と楽しそうにトラックを走っていた子どもたち。いつもと違う雰囲気に、テンションが上がっているのが感じ取れた。それぞれ年齢によって競技数や内容が違うが、かけっこを見ても年齢による違いが顕著。満3歳や年少組は、ゴールで待つ担任に向かってにこにこ。学年が上がると徐々にスピードも速くなる。年長組では走る距離も長くなり、表情も全く違ってくる。生活経験での違いが、はっきりしている。全園児による体操で始まり、全年長児のリレーで終わった今日の運動会。家族一緒の笑顔溢れる一日となった。

大好きな幼稚園

みどりの風

さくら幼稚園には息子が二年間お世話になり、今は娘が通っています。

息子は入園後すぐに友達と打ち解け、楽しく通う事が出来ました。今でも下校中に幼稚園バスを見かけると嬉しそうに話しています。そんな息子が入園した時には、まだ小さかった娘も今年は年長組になり、「幼稚園楽しい」「早く行きたい」と言って毎日笑顔で通っています。入園前には人見知りで食べ物の好き嫌いも多かった娘ですが、今では友達もたくさん

出来て「○○ちゃんと一緒に作ったよ」と作品を見せてくれたり、給食も「全部食べた」と嬉しそうに話してくれたりします。友達も先生も、とにかく幼稚園が大好きな娘。色々な経験をして日々成長している姿を見る度にとても嬉しく思い、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。残り少ない幼稚園生活ですが、大好きな幼稚園で友達や先生と楽しい思い出を増やして欲しいと思っています。



ゆり組 築館来果ちゃんのお母さん
築館 美穂さん

ようちえんってこんなところ

～年長組の畑～



「トマトのなえだよ。
おおきく、おいしくなあれ。」

～保育参観～



「おとうさん、はやいね。
まほうのじゅうたんみたい!!」

～幼年消防クラブ編入式～



「ぼくたち・わたしたちは、
ひあそびをしません!!」

～遠足～

八戸公園 三八五こども館



「スパイダーネット、ゆーらゆら。
たのしいな!!」

とらんぼりん

～ある日の保育日誌～

満3歳いちご組 6月4日(月)

集会で初めての行進練習をした。年長組のお兄さんお姉さんが手を引いてくれたので何とか歩けたが、体操は、予想どおり動かなかった。午後、部屋で一緒に体操すると集会の時とは大違いで、真似をしながら元気に体操をした。終わると何度も「先生、もう一回」と言うほど気に入ったようだった。ところが、体操の途中で通りかかった先生が「すごい!上手!!」とほめた途端動きが止まって違う遊びをし出した。運動会までにはと思う。



「びーだまコロコロ、
おもしろいせんが
できたよ!!」

年少組 6月1日(金)

自由遊びの時、汽車をつないで遊んでいたA君が「先生、これ皆で作ったの」と嬉しそうに教えてくれた。見るとレールを丸くつなげて汽車を走らせていた。Bちゃんがレールをつないでくれ、A君とCちゃんの二人で汽車をつないだようだ。いつもは自分が作ったものを友達が少しでも触ると怒るA君が皆で作ったことを教えてくれたことがとても嬉しかった。皆で作るといんなものができるね、と話した。果たして明日はどうか。

年中組 5月24日(木)

初めて全体でじゃばら折りをやった。元々得意な子たちは、あっという間に完成させた。初めてでも、説明をすぐに理解し作ることが出来た子もいたが、なかなか理解できず戸惑っている子もいた。すると先に完成させた子たちが、傍について折り方を教えていた。全員無事に完成と思ったらできないと怒り、泣きまねをする子がいた。すると、男の子が「大丈夫だよ」と頭をなでてくれたので落ち着いてきた。



「ふたりでシーソーにのると、
とってもたのしいね!!」

年長組 5月28日(月)

水やりをするために裏の畑へ向かっている途中、「大きくなっているかな」とつぶやきが聞かれた。畑に着くと「大きくなーれ」「おいしくなーれ」と声を掛けながら水をやったり、「オクラちょっと元気がないみたいだから、たっぷり水をあげた方がいいね」と苗の様子を気かけたり、自分たちで植えた苗を大切に育てようとしているのが感じられた。大きくたくさん実ったら、給食に入れてもらって食べたいと、今から楽しみにしている子どもたちだ。

～学友と親睦を深め～

新入生オリエンテーション合宿



4月13日・14日、種差少年自然の家にて、オリエンテーション合宿を実施した。これは附属中学校で初めての学外学習行事である。この合宿は、1)附属中学校生徒として自覚する 2)6年間の見通しを立てる 3)お互いの親睦を深め、過ごしやすいクラスを作る、の3点の達成を目標として行われた。生徒たちは、校歌の練習・6年間のガイダンスと卒業後の目標設定・せんべい焼き体験の3つを柱としてそれぞれの活動に取り組んだ。当日は天候にも恵まれ、生徒たちは生き生きと仲間との時間を過ごすことができた。また、教員と生徒間の相互理解も深めることができ、参加者全員にとって有意義な2日間となった。

授業風景

入学から3ヶ月が経ち、教室内の緊張感も安心感へと変わった。生徒達は国語・数学・英語などの5教科に加え、体育や美術などの実技教科にも積極的に取り組んでいる。特に理科の授業の実験では、実験結果に対して歓声があがり、非常に楽しんでいる。また生徒達は一様に「授業が楽しい」「学校が楽しい」と口をそろえる。良き仲間に巡り会い、自分たちの夢に向かって切磋琢磨しながら、附属中学校1回生としての道を歩み始めている。



放課後の活動

毎週月曜日の16時～16時45分を「学習タイム」として設定し、生徒達は各自の課題に取り組んでいる。それ以外の放課後は、それぞれが所属する部活動の練習に励み、高校生の先輩たちとの親睦も深めている。部員が多い卓球部を筆頭に、テニス部、陸上部、吹奏楽部、サッカー部、ソフトボール部、囲碁・将棋部、小倉百人一首かるた部、科学愛好会、美術部で附属中学生が活動している。2年後の大会に出場することを目標に、日々練習に励んでいる。



理事会・評議員会

学校法人八戸工業大学は、下記のとおり理事会・評議員会を開催して各案件について審議を行い、それぞれ原案通りに承認した。

◇5月25日 理事会・評議員会

- ・平成29年度事業報告に関する件
- ・平成29年度決算に関する件
- ・平成29年度監査報告に関する件
- ・「八戸工業大学第二高等学校附属中学校学費減免規程」制定に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学における公的研究費及び研究活動の適正確保に関する規程」改正に関する件

◇6月29日 理事会

- ・学校法人八戸工業大学「教職員の採用」に関する件
- ・文部科学省学校法人運営調査「改善状況報告」に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学寄付金取扱規程」制定に関する件
- ・八戸工業大学第一高等学校教育基金に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学衛生管理規程」改正に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学衛生委員会規程」改正に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学ハラスメントの防止等に関する規程」改正に関する件